

木下

正議員

山田 貴子 議員

メローねっとの普及と 同報無線の対策

問 「メローねっこ」普及活動のさらなる対策は。

答 「一人暮らし高齢者の訪問」時に、登録サポートをするなど多様な方法で効果的に普及を進めたい。外国人市民には、国際交流協会などの協力を得て、英語・ポルトガル語の説明チラシで積極的に登録の呼び掛けを行っていききたい。

問 消防庁より市に通知された「災害情報伝達手段の整備等に関する手引き」はどのように検証したか。

答 同報無線以外にも地域の実情に応じて、情報発信する必要がある。災害時の情報は、多様な伝達手段を用いて市民へ発信する必要があり、現在の情報伝達手段にとらわれず、新しい方法も意欲的に検討していききたい。

地域公共交通と 買い物弱者対策

問 本市の公共交通は、買い物弱者の移動手段として対応できているか。

答 目的地までの所要時間が長い、運行本数が少ないなど利用者の声に応えられていない。今後は、地域の皆さんと現状や課題を共有化し、地域協働運行バスの導入地域拡大に向け、一緒に取り組んでいきたい。

明日に備えて
かじらない防災

地域防災情報の入手は 「メローねっこ」(袋井市メール 配信サービス)を利用しよう。

袋井市でも起こる確率が高い自然災害

地震 津波・高波 台風・突風 洪水

緊急時の正確な情報は
自分と家族を守る盾となります。

登録用QRコード

メローねっとの普及を知らせる案内

ラグビーワールドカップ 開催にあたって

問 ホームステイの進捗状況は。

答 登録予定者を含めると96世帯と、目標の100世帯の達成に目途が立ってきた。今後本番に向け、8月に開催する「ホスト家庭へのオリエンテーション」までには、詳細を決定していきたい。

子どもたちの安全安心 確保のために

問 青色回転防犯パトロール、地域安全推進委員、スクールボランティア等の自身の身を守る対策は。

答 危険を知らせる警笛などの防犯グッズの配置を各活動団体にお願ひし、警察署と連携し、身を守る講習などができるような機会をつくってみたい。

学校生活における 不登校やいじめ対策は

問 本市の小・中学生の不登校やいじめの今後の対策は。

答 早期発見、早期対応ができるように、教育心理検査Q-Uを年2回実施、ネットパトロールを月1回実施、児童生徒の悩みや困り感を把握するためのアンケートを定期的に実施し、内容により教育相談につなげ、児童生徒に寄り添う指導を心掛けていきたい。



ラグビー「日本代表対アイルランド代表」戦の愛野駅周辺の様子(平成26年6月17日)